

令和6年度 仲間と共に 大学院での新たな挑戦が始まる



春の息吹を感じさせる4月3日、教職大学院の入学式が執り行われました。現職院生10名（香川県派遣8名、岡山県派遣2名）と学部卒院生3名の合わせて13名の新入生を迎え、9年目がスタートしました。更に、教職大学院担当の2名の先生方を迎えて新たな年度が始まりました。

また、4月9日には、大学院2、3年生の企画・運営による歓迎会も開催されました。自己紹介やグループでのゲームなどを通して、交流を深めることができました。



教員挨拶



授業力開発コース
准教授 大西 美輪

この度、授業力開発コースに着任いたしました。私は、香川県内の公立小学校で勤務した後、附属高松小学校で9年間、その後高松市総合教育センターで1年間、かけがえのない時間を過ごすことができました。附属高松小学校の時には教育実習生と、そして高松市総合教育センターでは初任者や中堅の先生方と出会い、子どもたちのために奮闘する姿をたくさん見てきました。

教職大学院では、様々な経験をもった人と共に学び、自分の専門性を高めたり、考えを深めたりする貴重な機会になると思います。ここでの学びが、この先出会うであろう子供たちの笑顔につながっていくよう、皆さんの研究や実践をサポートしてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



授業力開発コース
准教授 中名 紀子

この度、香川県教育委員会との人事交流により着任し、授業力開発コースを担当することとなりました。私自身は香川大学保健体育研究室小学校課程の出身で、卒業後、当時設置されて間もなかった大学院教育学研究科に進学しました。あの頃は、現場の教員と共に授業を受けるにつれ、現場へのあこがれが強くなっていったことを思い出します。あれから30年がたち、縁があってこの香川大学に勤められることになり、大変嬉しく思っております。

私が当時感じた学校現場へのあこがれ。もちろん、あこがれだけでは、やっていけない厳しい現実もありました。学習内容や児童生徒の実態、学習方法も日々変化している中、学校現場で感じた課題をもとに、子どもたちが生き生きと学び、「わかった」「できた」「楽しい、もっと知りたい」と感じる授業の在り方を教職大学院で学ぶ学生の皆さんと共に、学び、考えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

短期履修学生制度とは

教員（勤務経験が5年以上）の方、又は学校教育法施行規則第20条に規定する「教育に関する職」にある学校事務職員や教育委員会事務局職員（いずれも勤務経験が10年以上）の方で、かつ、教育委員会等からの推薦があり、厳正な審査により派遣が認められた方が1年間の履修で修了できる制度です。この短期履修学生制度で修了した現職教職員の方に、大学院修了後もサポートを継続する1年間の「フォローアップ・プログラム」を実施しています。

令和5年度にフォローアップ・プログラムを終えた修了生の声

広い視野をもち、学び続けたい

高松市立香西小学校 松田 周子

私は置籍校で、1年目に引き続き、様々な理由から支援を必要とする児童への気づきを促し、組織的、継続的な支援につなぐための見取り実践に取り組みました。この実践で用いた「気づきチェックシート」で見取りの視点を示すことにより、特に若年の教員において児童を見取る際の視点が広がったこと、学年団で情報共有の時間を取ることで、教師の協働体制や見取りの意識が高まったことなど、多くの成果が得られたと感じています。

この実践研究以外にも、生徒指導上のことで悩んでいる若年の先生に、資料をもとにアドバイスしたり、現職教育において新たな取り組みを提案したりと、教職大学院で学んだことを活かすことができました。今後この学びを学校現場に還元するとともに、常に学ぶ姿勢を忘れず、いろいろな視点をもって教育活動に取り組んでいきたいと思っています。

フォローアップ・プログラムの充実した1年間

高松市立塩江中学校 林 智恵

これまでは学級担任をさせていただくことが多かったのですが、初めて教務主任としての1年を過ごしました。担任とはまた違った視点で学校を見つめることができ、毎日が大変勉強になっています。大学院で学んだ知識を活かし道徳科でのふるさと教材を作成し、授業をすることもできました。また、学会で発表させていただいたことは、多くの素敵な出会いのきっかけとなりました。不慣れで不器用な私でも、充実した時間の中に身を置き働けていることは、理解ある温かな職場環境とサポートし続けてくださる大学の先生方のおかげです。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。今後も人との繋がりを大切に、研鑽を重ねてまいります。



学び続ける姿勢を大切に

香川県立香川中部支援学校 前田 美帆

フォローアップ・プログラムでは、特別支援学校のセンター的機能の一つである連携訪問において、訪問員の人材育成の在り方の検証、さらに県内特別支援学校における訪問員の人材育成の現状と課題を明らかにすることを目的とした実践研究を行いました。教員の経験値、専門性向上に向け、同僚との対話型研修や未経験教員がベテラン訪問員に同行する実践的研修を行いました。また、校内研修や同行の仕組みを学校間で情報共有するという、新たな課題を明らかにできました。校務と実践研究の両立は不安でしたが、スクール・ミーティングで指導教員から直接ご指導いただけたことで、新たな気づきや視点を見出すことができ、本当に感謝しております。今後も学ぶ姿勢を忘れず、得た成果を現場に広げていきたいと思っています。

2025年度 大学院入試日程等のご案内

入試日程は、右の通りです。入試の詳細については『学生募集要項』で確認してください。学務係で配付しています。また、ホームページでも案内しております。個別の質問等については、ホームページから「教職大学院説明会特設web会場」に移動し、問い合わせフォームをご利用ください。

A日程：2024年 8月31日(土)

B日程：2024年11月30日(土)

C日程：2025年 2月 1日(土)



教職大学院の
ホームページ